



五月廿一日晴

一平家五尉 以上元人力也 任委  
趣九尉示 此勢 亦 是 權 臣 也  
神 官 乃 通 心

空司

權山路和

祐定

三王典

中川曲史

三王典

吉岡有宣

等印出仁

三神 直

建部瑞施

建部伊儀

社費主佐

大東拙吉

小忠

柳村松吉

一本口以尾根草久一處中樂子

平時比路九如或所 自分知多處  
別名ノミ

一自分任職處上以信元親司

右左傳



一、奉命赴任處方々通

赴任の儀

西谷儀

白山比咩神社、昨平旦赴任  
到着候事、此後以備申上候也

服信申五年五月廿日、神田河瀬泉

内務卿山田縣為殿

右宮内、出久、海島方々一通

赴任の儀

西折儀

白山比咩神社、昨平旦赴任到

着候事、此後以備申上候也

服信申五年五月廿日、神田河瀬泉

内務卿山田縣為殿

右宮内、出久、海島方々一通

赴任の儀

西谷儀

白山比咩神社、昨平旦赴任到

着候事、此後以備申上候也

服信申五年五月廿日、神田河瀬泉

内務卿山田縣為殿

右宮内、出久、海島方々一通

赴任の儀

西谷儀

白山比咩神社、昨平旦赴任到

着候事、此後以備申上候也

服信申五年五月廿日、神田河瀬泉

内務卿山田縣為殿



五月三日晴

予前日少憩

一午後中川女河原幸細室修文在

病中

五月三日

一午後中川女河原幸細室修文在

雜記

成瀬日記



國幣神社白山比咩神社  
振束神社  
細島

國幣神社白山比咩神社  
振束神社  
細島

一石川神社  
白山比咩神社  
振束神社  
細島

百重地蔵

祭  
菊陸燈神

伊特諾神  
伊特諾神

水殿  
三宮神社

白山比咩神社  
白山比咩神社  
振束神社  
細島

白山比咩神社  
白山比咩神社  
振束神社  
細島

日本武尊

多岐神社

白山比咩神社  
白山比咩神社  
振束神社  
細島

白山比咩神社  
白山比咩神社  
振束神社  
細島

白山比咩神社  
白山比咩神社  
振束神社  
細島



河邊宮 大宮 菅原宮

大日靈神社

祭神 大日靈神

月宮城內攝社 二日

神社

大山祇神

二宮宮内東社 祭神 大山祇神

檀神宮

祭神 不詳

一宮 多摩河東社 祭神 不詳

祭神 不詳

檀外攝社

河内郡踏車村 已百八十八年 祭神 不詳

金劍神社 祭神 不詳

祭神 白山寺 祭神 白山寺

或云天津彦 祭神 白山寺

一宮 河内郡七五村 祭神 白山寺

祭神 不詳

祭神 不詳

一宮 河内郡佐良村 祭神 白山寺

佐良早社 祭神 白山寺

祭神 不詳

一宮 河内郡山崎村 祭神 白山寺

再神社 祭神 白山寺

白山寺

又云 白山寺

本別宮 祭神 白山寺







成瀬

一傳 七社

五社 十一社

一社 十一社

五社 十一社

一社 十一社

五社 十一社

五社 十一社

一石川縣廳距此四里六三町

以上

明治十六年

一凡一通書部及 金沢縣

一凡一通書部及

別府白曲傳家不月引

明治十六年八月廿四日

成瀬正居

奉書四切

成瀬正居

皇典講六九所 安

員補申付候事

明治十六年八月廿四日

副總裁久我建通



成瀬正居

百川縣皇典講究所

所詰タルノ事

明治十六年八月廿四日

皇典講究所

右列ノ事第ニ右様ニ示サザレ  
右ノ通牒ヲ列シテ外ニ其ノ外ニ示サザレ  
上ノ通牒ヲ示シテ外ニ其ノ外ニ示サザレ  
一 皇典講究所

一 皇典講究所  
一 皇典講究所

一 皇典講究所  
一 皇典講究所

一 皇典講究所  
一 皇典講究所

一 皇典講究所  
一 皇典講究所

一 皇典講究所  
一 皇典講究所

一 皇典講究所  
一 皇典講究所

一 皇典講究所  
一 皇典講究所

一 皇典講究所  
一 皇典講究所



相若可申侯間以修師在申之侯也



明治十一年月廿 息比洋神社 新田成瀬正居

内務卿山頭義殿

右内務省、此より久 二通、（一）小田原にて

石川神社へ、届右通三通、（二）新田正居宛

石川縣令岩村高俊殿

石川縣令、此より六通、（三）石川縣令宛

一、此書、同書、（四）石川縣令宛

一、年、（五）石川縣令宛

一、年、（六）石川縣令宛

九月

一、年、（七）石川縣令宛

一、年、（八）石川縣令宛

一、年、（九）石川縣令宛

一、年、（十）石川縣令宛

一、年、（十一）石川縣令宛

一、年、（十二）石川縣令宛

一、年、（十三）石川縣令宛

一、年、（十四）石川縣令宛

一、年、（十五）石川縣令宛

一、年、（十六）石川縣令宛

一、年、（十七）石川縣令宛

一、年、（十八）石川縣令宛

一、年、（十九）石川縣令宛

一、年、（二十）石川縣令宛

一、年、（二十一）石川縣令宛



右の山陽山陰

一 神奈川島土石の砂り

一 山崎中ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り

一 山崎ノ宮崎の砂り



丙子年  
 正月  
 初一日  
 晴  
 二日  
 晴  
 三日  
 晴  
 四日  
 晴  
 五日  
 晴  
 六日  
 晴  
 七日  
 晴  
 八日  
 晴  
 九日  
 晴  
 十日  
 晴  
 十一日  
 晴  
 十二日  
 晴  
 十三日  
 晴  
 十四日  
 晴  
 十五日  
 晴  
 十六日  
 晴  
 十七日  
 晴  
 十八日  
 晴  
 十九日  
 晴  
 二十日  
 晴  
 二十一日  
 晴  
 二十二日  
 晴  
 二十三日  
 晴  
 二十四日  
 晴  
 二十五日  
 晴  
 二十六日  
 晴  
 二十七日  
 晴  
 二十八日  
 晴  
 二十九年  
 晴  
 三十日  
 晴

明治二十一年



成瀬正居

補白山以咩神社禰宜

明治廿年四月十九日



御諱

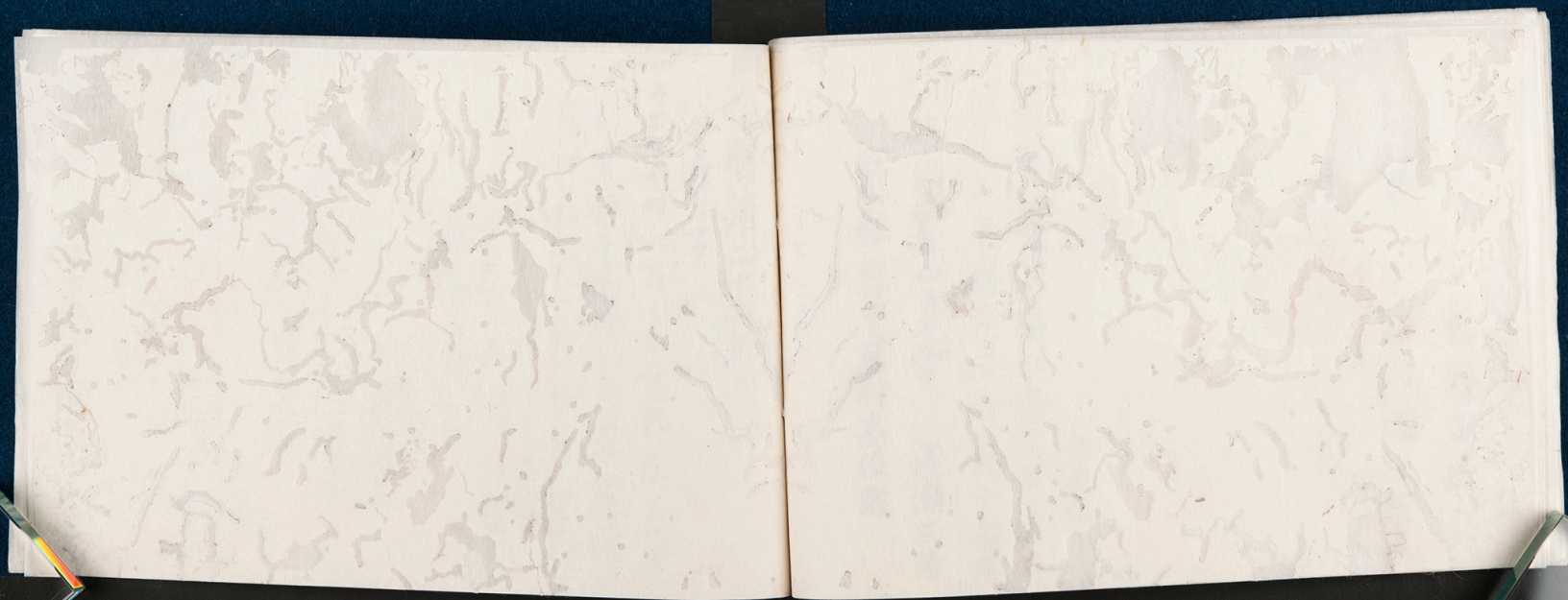
正居儀

被補白山以咩神社禰宜  
令之類奉畏侯右禰請上之申

明治二十三年四月十日 成瀬正居

石川縣知事岩村高俊殿







明治二十二年

十月三日

午前十時に在りて於都府に於て  
別々辭令を授けし事乃ち此迄  
中下各府に多分なること  
此後迄七月七日 乙卯年七月  
成瀬正格

成瀬正格

石川縣皇典講究所

所助申付候事

明治二十二年六月廿七日



皇典講究所

石川縣皇典講究所 所助申付候事















[illegible]

平内  
向能  
幸安  
無系  
難行  
以之  
合

ふれぬは保元平九年九月廿五日

[illegible]



[illegible]

神  
書  
日  
又  
四

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

奉信  
後

并傑子徽子

同年一以秋奉命于

而

卷之五

六經之書乃此仁壽

武平二年八月

子集



